

表4 岡発戸・都部谷津田鳥類調査出現種リスト
(2000年11月~2001年7月調査)

目	科	種
ペリカン	ウ	カワウ
コウノトリ	サギ	ゴイサギ
		アマサギ
		ダイサギ
		チュウサギ
		コサギ
カモ	カモ	カルガモ
タカ	タカ	トビ
キジ	キジ	キジ
チドリ	シギ	クサシギ
		タンシギ
	カモメ	ユリカモメ
ハト	ハト	キジバト
		カワラバト
ブッポウソウ	ブッポウソウ	カワセミ
キツツキ	キツツキ	コゲラ
スズメ	ヒバリ	ヒバリ
	ツバメ	ツバメ
	セキレイ	ハクセキレイ
		ピンズイ
		タヒバリ
	ヒヨドリ	ヒヨドリ
	モズ	モズ
	ツグミ	ジョウビタキ
		トラツグミ
		アカハラ
		シロハラ
		ツグミ
	ウグイス	ウグイス
		オオヨシキリ
		セッカ
	シジュウカラ	シジュウカラ
	メジロ	メジロ
	ホオジロ	ホオジロ
		カシラダカ
		アオジ
	アトリ	カワラヒワ
	ハタオリドリ	スズメ
	ムクドリ	ムクドリ
カラス	ハシボソガラス	
	ハシブトガラス	
	コジュケイ	

表5 岡発戸・都部谷津における両生類・は虫類確認種
(2000年7月~2001年4月調査)

		種類	備考
は虫類	ヘビ類	ヤマカガシ	
		アオダイショウ	
		ヒバカリ	
		マムシ	聞き取り調査
	トカゲ類	ニホントカゲ	
		ニホンカナヘビ	
両生類	カエル類	アズマヒキガエル	
		ニホンアマガエル	
		ニホンアカガエル	
		ウシガエル	
		シュレーゲルアオガエル	

表6 岡発戸・都部谷津におけるトンボ類の確認種
(2000年7月~2001年7月調査)

種類	
1	アジイトトンボ
2	アオモンイトトンボ
3	オオアイトトンボ
4	ウチワヤンマ
5	オニヤンマ
6	クロスジギンヤンマ
7	ギンヤンマ
8	シオヤトンボ
9	シオカラトンボ
10	オオシオカラトンボ
11	コフキトンボ
12	ショウジョウトンボ
13	ナツアカネ
14	アキアカネ
15	マイコアカネ
16	ノシメトンボ
17	コシアキトンボ
18	ウスバキトンボ
19	チョウトンボ

表7 岡発戸・都部谷津における水生動物確認種
(2000年7月、2001年7月調査)

種類	
魚類	モツゴ
	ドジョウ
	ヒメダカ
	トウヨシノボリ
貝類	ヒメタニシ
	サカマキガイ
	ヒメモノアラガイ
甲殻類	ヨコエビの一種
	ミズムシ
	アメリカザリガニ
昆虫類	ユスリカ(幼虫)

5

岡発戸の谷津田の生き物に関する現地調査結果

5-1 昆虫類・クモ類・鳥類調査

(向井章雄さん)

岡発戸の谷津田の生き物に関して、これまで紹介した調査の他に、我孫子市野鳥を守る会の向井章雄さんが1998年から2001年までの4年間にわたり、昆虫類、クモ類、鳥類の出現種を月別に記録しています。この記録を本小冊子に提供いただきましたので、紹介します。

●昆虫類(節足動物門昆虫綱)の月別出現状況

表8に示すとおり、10目51科150種確認されています。

また、昆虫類の出現種数を月別に比べると、7、8月がそれぞれ80種、79種と最も多く、2月が1種と最少でした(図19)。

●クモ類(節足動物門クモ綱)の月別出現状況

表9のとおり、1目3科7種のクモ類が確認されています。

●鳥類の月別出現状況

表10のとおり、11目24科52種の鳥類が確認されています。

12月が32種と最も多く、10月が13種と最も出現種数が少なくなっています(図20)。

図19 昆虫類の月別出現種数の変化

(1998年4月～2001年3月のべ出現種数)



図20 岡発戸の谷津田の鳥類の月別出現種数の変化

(1998年4月～2001年3月のべ出現種数)



表8 昆虫類の月別出現状況 1/3

(1998年4月～2001年3月)

●の数は4年間で観察できた年数

目	科	種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鞘翅目	アゲハチョウ科	アゲハチョウ	●	●	●●●	●●●	●●●●							
		クロアゲハ	●	●	●	●●●	●●●●	●●						
		ジャコウアゲハ	●	●		●	●●●							
		カラスアゲハ				●●								
		キアゲハ	●●●●	●●	●●●●	●●●	●●●	●●●	●					
		アオスジアゲハ		●		●●●	●	●●						
	シロチョウ科	モンシロチョウ	●●●	●	●●	●●●●	●	●	●					
		スジグロシロチョウ	●		●●●	●●●	●●●	●	●	●				
		モンキチョウ	●●	●	●●●	●●	●		●	●				
		ツマキチョウ	●●●											
		キチョウ	●●	●	●●	●●	●	●	●	●				
		シジミチョウ科	ムラサキシジミ			●●	●●●	●●●	●	●		●		
	ベニシジミ	●●●●	●●	●●●	●●●●	●●●				●				
	ウラギンシジミ				●●●	●	●●●					●		
	ゴイシシジミ				●	●	●							
	ツバメシジミ			●	●●●		●							
	ヤマトシジミ	●●	●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●	●●	●	●				
	タテハチョウ科	コムスジ		●		●	●							
		イチモンジチョウ		●	●	●	●							
		ルリタテハ	●				●							
		キタテハ	●	●	●●	●●●●	●●●●	●●	●●	●●	●			●●
		ヒメアカタテハ				●								
		アカタテハ	●			●								
		コマダラチョウ		●		●●								
	ジャノメチョウ科	ヒカゲチョウ			●●	●		●						
		サトキマダラヒカゲ		●●	●●	●	●●●	●						
		ヒメウラナミジャノメ		●●●●	●●	●●●	●●	●●●						
		ヒメジャノメ		●●	●●	●●●	●	●●						
		コジャノメ		●		●								
		ナミジャノメ				●								
	セセリチョウ科	ダイミョウセセリ		●●		●●●	●	●						
		チャバネセセリ			●	●●●●	●●	●●						
		イチモンジセセリ		●		●	●	●	●					
		キマダラセセリ			●●	●	●	●						
	ヤママユガ科	ヤママユガ					●							
		クスサン			●									
	シャクガ科	ウメエダシャク			●	●								
	カレハガ科	タケカレハ			●	●	●							
	ヤガ科	ハグルマトモエ												
	スズメガ科	コスズメ		●										
		クチバズメ				●								
	メイガ科	ヨツボシメイガ					●							
		シロオビノメイガ							●					
	カノコガ科	カノコガ	●		●●●		●							
	マダラガ科	ホタルガ			●●				●●					
	ツバメガ科	ギンツバメ		●	●●	●●●	●●	●						
	鞘翅目	コガネムシ科	カナブン			●	●							
クロカナブン							●							
シロテンハナムグリ					●									
コアオハナムグリ							●	●						
クロハナムグリ			●											
ハナムグリ				●										
コガネムシ							●							
コフキコガネ						●								
スジコガネ						●								
ヒメコガネ					●	●●	●							
クワガタムシ科		クワガタ			●	●								
		ノギリクワガタ				●	●							
カミキリムシ科		クワカミキリ						●						
	コマダラカミキリ				●●									
		センノカミキリ		●										

次ページへつづく

表8 昆虫類の月別出現状況 2/3
(1998年4月~2001年3月)

●の数は4年間で観察できた年数

目	科	種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
鞘翅目(つばき)	テントウムシ科	トホシテントウ			●	●									
		ニジュウヤホシテントウ				●									
		テントウムシ				●							●		
		ナナホシテントウ	●●	●	●●	●	●●	●			●	●	●		
		キイロテントウ									●				
	ミズスマシ科	ミズスマシ		●	●	●	●								
	ガムシ科	コガムシ					●								
	シデムシ科	シデムシ		●											
	タマムシ科	ヤマトタマムシ				●●	●								
	ハムシ科	ヨモギハムシ		●											
		ルリハムシ		●●	●●						●				
		ヤナギルリハムシ			●	●									
		クロウリハムシ			●										
		ウリハムシ			●			●●							
	ゾウムシ科	ヒメシロコブゾウムシ		●											
		オシロアシナガゾウムシ			●										
		マダラアシゾウムシ			●										
		コフキゾウムシ			●										
ヒラタムシ科	ベコヒラタムシ		●												
アカハネムシ科	アカハネムシ	●													
カミキリモドキ科	モモフトカミキリモドキ	●													
直翅目	バッタ科	トノサマバッタ			●	●	●●	●	●						
		クルマバッタ					●	●	●						
		ショウリヨウバッタ			●		●●●●	●●							
		オンブバッタ			●	●●●●	●●●	●●●	●						
		コバネイナゴ			●	●	●	●●	●●	●●	●●	●			
		ヒシバッタ		●	●●	●	●	●	●						
	コオロギ科	エンマコオロギ			●	●	●	●	●●●	●					
		オカメコオロギ							●●	●					
		スズムシ							●						
		アオマツムシ								●					
		カネタタキ							●	●●					
		クサヒバリ							●●●	●●					
		キンヒバリ		●	●●●●	●									
		ケラ			●										
	キリギリス科	ヒメギス		●	●	●●●	●								
		ウマオイ					●	●							
		ツコムシ				●	●●								
	ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシ			●									
網翅目	カマキリ科	コカマキリ			●			●							
		オオカマキリ	●			●	●●	●●	●	●	●	●	●		
		ウスバカマキリ				●									
蜻蛉目	イトトンボ科	アジアイトトンボ	●	●●	●	●●●	●	●	●						
		オオアイトトンボ						●							
	カワトンボ科	ハグロトンボ			●		●								
	サナエトンボ科	ウチワヤンマ				●●	●●●								
	オニヤンマ科	オニヤンマ			●	●	●●●●	●●							
	ヤンマ科	ギンヤンマ			●	●	●●	●							
		クロスジギンヤンマ				●									
	トンボ科	シオカラトンボ	●●	●●●●	●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●						
		オオシオカラトンボ			●	●	●								
		ショウジョウトンボ			●	●	●	●							
		アキアカネ				●●	●●●●	●●	●●	●●					
		ナツアカネ			●	●●●	●●								
マイコアカネ					●	●●									
ノシメトンボ				●●●●	●●●●	●●●	●●	●●							
コシアキトンボ		●	●		●●●										
チョウトンボ			●	●											
長翅目	シリアゲムシ科	シリアゲムシ	●	●											

表8 昆虫類の月別出現状況 3/3
(1998年4月~2001年3月)

●の数は4年間で観察できた年数

目	科	種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
半翅目	セミ科	ニイニイゼミ				●●●	●							
		アブラゼミ					●●●●	●						
		ミンミンゼミ				●●	●●●●	●●						
		ヒグラシ					●							
		ツクツクボウシ					●●●●	●●●						
	アブラムシ科	クリオオアブラムシ										●		
	カメムシ科	ナガメ				●●	●	●						
		アオクサカメムシ									●			
	ヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ					●	●						
	オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ					●							
	タイコウチ科	ミスカマキリ					●							
ミズムシ科	コミスムシ												●	
膜翅目	ヒメバチ科	コンボウアメバチ		●										
		ヤマガタヒメバチ					●							
	ベッコウバチ科	オオモンクロベッコウ				●●	●●●							
	スズメバチ科	スズメバチ				●●		●						
		フタモンアシナガバチ	●		●		●							
		キアシナガバチ					●							
		オオスズメバチ							●					
		オオフトオビドロバチ					●							
	ジガバチ科	ジガバチ				●●								
	ミツバチ科	クマバチ					●●	●						
		ミツバチ		●	●●						●			
双翅目	ムシヒキアブ科	シオヤアブ				●●								
		アオメアブ						●						
	ハナアブ科	シマハナアブ	●											
		ハナアブ	●									●		
	ガガンボ科	ミカドガガンボ	●	●	●		●	●						

表9 クモ類の月別出現状況
(1998年4月~2001年3月)

●の数は4年間で観察できた年数

目	科	種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
真正蜘蛛目	コガネグモ科	ナガコガネグモ				●	●							
		コガネグモ			●●	●●●	●	●●●						
		ジョロウグモ				●	●	●●●						
		ゴミグモ			●	●								
	キシダグモ科	イオウイロハシリグモ					●							
	フクログモ科	ヤマトコマチグモ			●									
		ハマキフクログモ				●								

表10 鳥類の月別出現状況
(1998年4月~2001年3月)

●の数は4年間で観察できた年数

目	科	種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ペリカン目	ウ科	カワウ		●						●	●●		●	
コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ		●●	●●	●	●	●		●				
		アマサギ				●●								
		ダイサギ		●●●	●	●	●●	●	●					●
		チュウサギ	●	●●●		●		●						
		コサギ		●●			●	●				●●	●●	●
カモ目	カモ科	カルガモ	●●	●●●		●			●					
		コガモ								●				
タカ目	タカ科	オオタカ	●●	●●							●			
		ノスリ			●									
		サシバ	●				●	●●						
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ		●						●	●	●		
キジ目	キジ科	キジ	●●●●	●●●●	●●	●●	●	●				●		
		コジュケイ	●	●●		●					●		●	
チドリ目	チドリ科	コチドリ			●		●			●				●
ハト目	ハト科	キジハト	●●●	●●●	●	●●	●●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●	●●●	●●●
ホトトギス目	ホトトギス科	カクコウ			●●●	●								
ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ			●	●	●				●	●	●	
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	●●	●●●	●●●	●●				●●	●	●	●	●●●
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ		●			●							●
	ツバメ科	ツバメ	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●	●						
	セキレイ科	キセキレイ								●	●●			
ハクセキレイ		●●●●	●	●●	●		●	●	●●●	●●	●●●	●	●●●	
セグロセキレイ		●		●				●		●●●	●●	●	●	●
ピンズイ											●			
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●	●●	●●●	●●●	●●●	●●	●●●
	モズ科	モズ	●●	●	●	●		●●	●	●●●	●●●	●●●	●	●●
	ヒタキ科	ルリヒタキ									●			
ジョウビタキ										●●●	●	●	●	●
アカハラ		●●									●	●	●	●
シロハラ		●●								●●●	●●●	●●	●●	●●●
ツグミ		●●●●								●●	●●●	●●●	●●●	●●●
ウグイス		●●●●	●●●●	●●●●	●●●	●	●	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
オオヨシキリ			●●	●●										
セッカ			●●●	●●	●●		●							
	シジュウカラ科	コガラ	●							●		●		
シジュウカラ				●						●	●	●●●	●	●●
	メジロ科	メジロ	●●●	●●	●●	●●	●		●	●●	●●●	●●	●●	●●
	ホオジロ科	ホオジロ	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●	●	●●●	●●	●●●	●●●	●●●
カシラダカ										●●●	●●●	●●●	●●	●●
アオジ		●●●●								●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
オオジュリン														●
	アトリ科	アトリ												●
カワラヒワ		●●●	●●●	●●	●	●				●●●	●●●	●●	●●●	●●●
ベニマシコ											●		●	●
シメ		●●●								●●●	●●	●●	●●	●●
	ハタオリドリ科	スズメ	●●	●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●	●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
	ムクドリ科	ムクドリ	●●●	●●●●	●●●●	●●●	●	●●●	●	●	●●●	●●●	●●●	●●●
	カラス科	カケス	●							●	●	●	●	●
オナガ		●		●	●									
ハシボソガラス		●●●	●●●	●●●●	●●	●●●	●●	●●	●	●●●	●●●	●●	●●	●●●
ハシブトガラス		●●●	●●	●●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●	●●●	●●●	●●	●●	●●●

5-2 我孫子市鳥の博物館による月別センサス調査結果

我孫子市鳥の博物館では、2000年4月から2002年3月までの2年間、岡発戸の谷津田内にセンサスルートを設定（図21）、月1回の鳥類のセンサス調査を実施しました。

この結果、表10のように、10目27科52種の鳥類が確認できました。

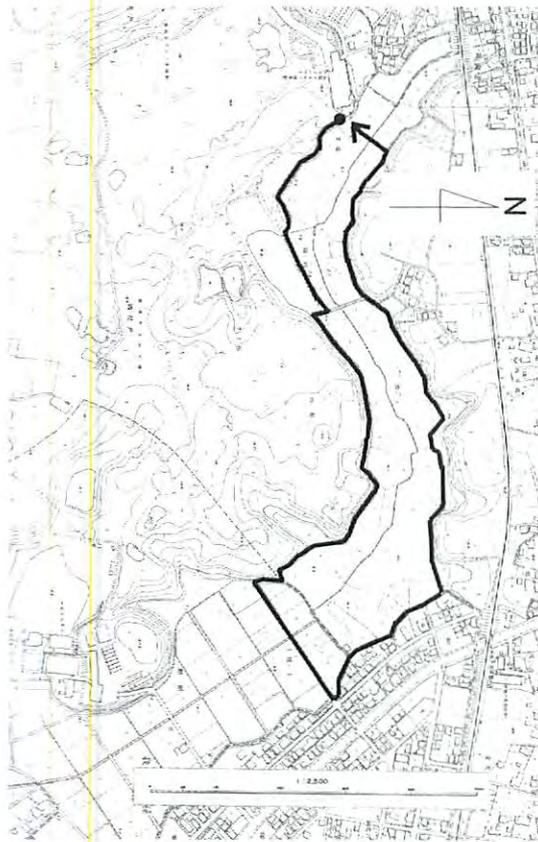


図21 岡発戸の鳥類センサス調査ルート

出現種数、個体数の月変化は、図22の通りです。種数、個体数とも秋期と冬期に多く、夏期に少ない傾向が見られます。

また、季節別に優占種を比べると、スズメとヒヨドリとホオジロが全シーズンにわたり優占していることや、冬期にはアオジ、カシラダカが優占する傾向が見られます（図23）。

図23 岡発戸の谷津田出現鳥類の季節別優占種

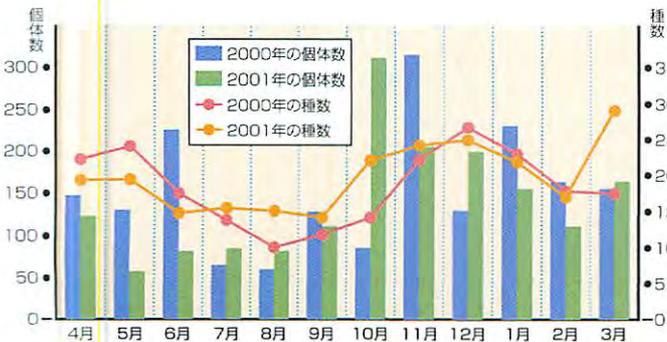
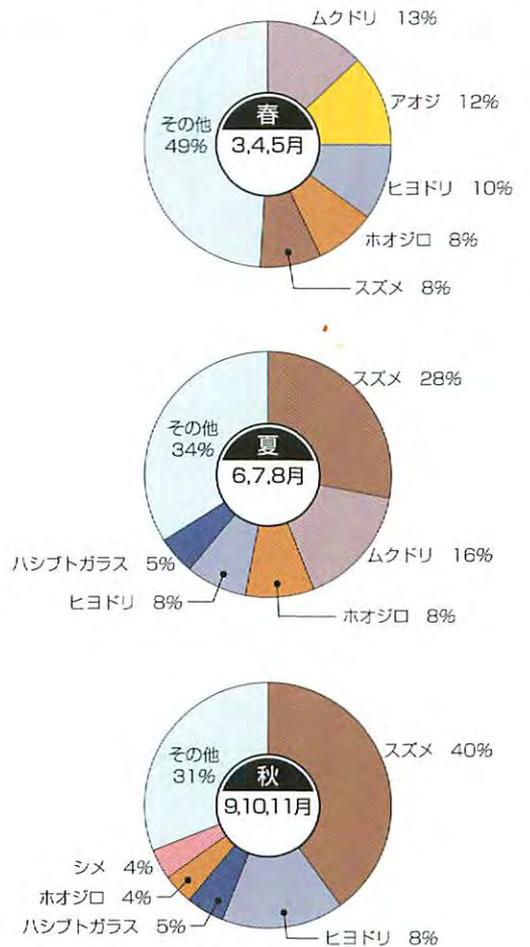
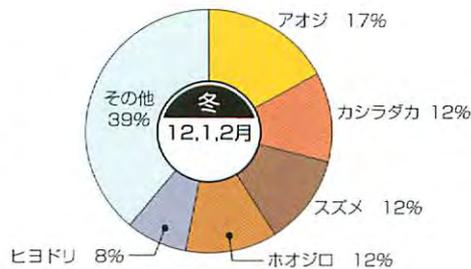


図22 岡発戸の谷津田出現鳥類種数・個体数の月変化



5-3 その他注目すべき観察記録

●クロコノマチョウの確認 –地球温暖化の影響?–

クロコノマチョウは褐色で大形のジャノメチョウの仲間。メスはオスより大型で翅の表面の地色は淡色で、前翅頂付近の外縁の突出が顕著になります。日陰を好む性質が強く、薄暗い林内に多く見られる南方系のチョウです。

年2～3回の発生で7～8月に夏型が、9～10月に秋型が見られ秋型成虫で越冬します。秋型成虫は多く発生します。林内を歩くと足元から飛び立ちます。翅を閉じてとまり裏面の枯れ葉模様が落ち葉にとけこんで保護色となって飛び立たないと見つけにくいチョウです。

静岡県以西の本州、四国、九州に分布。現在、北と南で分布の拡大、定着化が進んでおり1950年代に静岡県で土着し、現在土着北限と思われるのは山梨県下部町、千葉県房総半島清澄山周辺と言われています。

我孫子市でも2000年10月18日岡発戸谷津田の鳥類調査で偶然にこのクロコノマチョウが谷津田のジュズダマの繁茂している田の畦で4頭飛んでいるのを観察しました。

食草はすべてイネ科植物で、ススキ、ジュズダマ、ヨシ、ツルヨシです。

(岡発戸での観察記録)

- ・2000年10月18日 時田賢一ほか
- ・2000年10月19日 木村稔



写真撮影データ(2枚共)

撮影者:木村稔
撮影年月日:2000年10月19日
撮影場所:千葉県我孫子市岡発戸

●アカゲラの確認 –営巣木、断木の増加か?–

我孫子市内でこれまで記録のなかったアカゲラが、岡発戸の谷津田の枯木を巣として利用していることが確認されました。

アカゲラの生息に関する近隣地域での記録としては、1983年9月7日千葉県柏市増尾(木村稔)、1985年11月9日千葉県沼南町泉(村上弘)(手賀沼の鳥 1994 我孫子野鳥を守る会)、また、千葉県内での繁殖記録は、1997年1月～1999年11月千葉県流山市市野谷(時田ほか 2001 我孫子市鳥の博物館調査研究報告)があるのみです。

(岡発戸の谷津田での確認記録)

- ・2001年10月15日 枯れた栗の木上 中野久夫
- ・2001年10月21日 木に穴を掘っていた、つづくりと思われる 宮下三禮
- ・2001年10月23日 木に穴を掘っていた、つづくりと思われる 西巻実

以上、我孫子市野鳥を守る会(2002) ぽーぽーどり NO.164より引用。



写真撮影データ

撮影者:西巻実
撮影年月日:2001年10月23日
撮影場所:千葉県我孫子市岡発戸

この小冊子では、岡発戸の谷津田の自然に関して、これまで調査された資料をまとめてみました。

岡発戸の谷津田そのものを対象にした調査は、我孫子市手賀沼課によって2000年から2002年にかけて行われ、我孫子市谷津田水田等自然環境調査として発行されました。

しかし、谷津田の調査は始まったばかりで、まだ未調査の項目もあり、生物の生育・生息場所としての自然環境は、十分に把握されているとはいえません。

これからどんな調査が行われ、どんな情報が集まれば、生物の生活の場としての谷津田の自然をより正しくとらえることができるのか、環境要素ごと検討してみました。

6-1 水環境

●流量

我孫子市手賀沼課の調査により、雨水の集水域、湧水の分布、灌漑用水栓の分布が報告されています。しかし、水路、湧水の流量の季節変動、灌漑用水の正確な利用時期や流量については把握されていません。

●水質

我孫子市手賀沼課により、水路内2地点の、春期（5月）における水質（COD、T-N、T-P）および流量の調査結果が報告されています。

しかし、水路の流量や水質の季節変化、絞り水や湧水の水量や水質については把握されていません。

6-2 地形・地質

谷津田は、谷津につくられた田んぼです。そして谷津というのは、台地や丘陵地の浸食谷の中で特に平坦な、幅のせまい谷底低地を持つ地形を指します。北総台地に無数に分布する谷津の中で岡発戸の谷津田は、地形的にどのような谷津に位置づけられるのか比べることも、地域特性を把握する助けになると思われます。

6-3 植物

我孫子市環境保全課、我孫子市手賀沼課により、谷津田の植物群落の分布（植生図）や植物相が把握されています。

しかし、各植物群落の構造（群落側面図、樹冠投

影図など）や、樹林・草地・水田・畑地の管理方法については、十分な調査はなされていません。生物の生息場所としての谷津田環境を理解するためには、これらの調査も必要と思われます。

6-4 動物

●ほ乳類

ほ乳類を対象とした調査は、かつて行われたことはありません。

今後、ほ乳類の痕跡調査、捕獲調査（ネズミ・モグラ類）、聞き取り調査など行うことで、生息種と生息状況について把握できると思われるます。

●鳥類

鳥類については、向井章雄さんによる4年間にわたる月別出現種調査、我孫子市手賀沼課による月別の鳥類センサス調査、我孫子市鳥の博物館による2年間の月別鳥類センサス調査が実施されており、谷津田内の鳥相および個体数・種数の季節変化が把握されています。

しかし、繁殖、採餌、時の利用場所など、各種鳥類の詳細な生息状況に関する調査は行われていません。また、これまで行われた調査は、姿、鳴き声による確認調査でしたが、こうした調査では確認できない林内潜行性鳥類については、標識調査など捕獲調査を実施することによって把握できるものと思われるます。

●両生・は虫類

代表的な両生・は虫類相はリストアップされていますが、谷津田内の環境を網羅した調査は行われていません。季節による生息場所の変化や、各種の生息密度を把握できるような、定量的な調査によってより正確な生息状況が把握できると思われるます。

●昆虫類

昆虫類については、向井章雄さんによる昆虫類相の調査、および我孫子市手賀沼課によるトンボ類調査があります。

今後は、見つけどり、スウィーピング、ピーティング、ピットフォールトラップ、ライトトラップなどの調査を定期的実施することにより、昆虫相、生息場所、季節変化などをより正確に把握できると思われます。

5 今後の岡発戸の谷津田の自然環境調査へ向けて

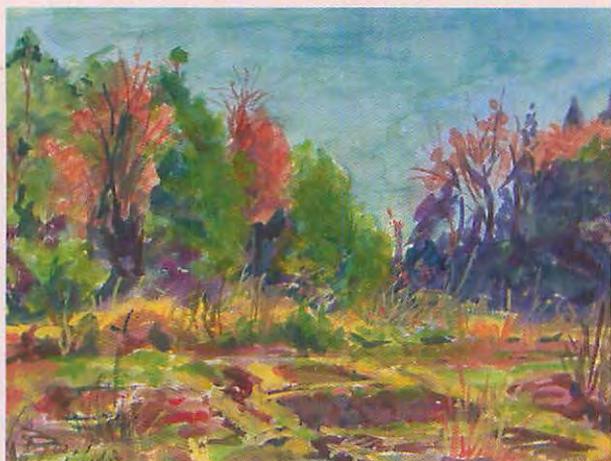
●水生生物

代表的な水生生物相はリストアップされていますが、谷津田全域を網羅した調査は行われていません。谷津田内の異なる生息環境別に調査地点を定め、定期的に調査を実施することにより、水生生物相の季節変化や種ごとの生息環境など把握することができると考えられます。

●その他の生物

昆虫類以外の節足動物については、向井章雄さんによるクモ類相の調査があり、代表的な生息種がリストアップされています。

今後は、クモ類を以外に、田んぼや斜面林の土壌動物なども対象とした調査を行うことにより、谷津田内の物質循環のしくみが分かるものと思われれます。



野口 幸子 画



第36回企画展

岡発戸の谷津田の

鳥と自然 [資料集]

平成14年

6月15日[土] ▶ 10月27日[日]

●開館時間／午前9時30分～午後4時30分

●休館日／毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始



我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山2-34-3

TEL.04(7185)2212 FAX.04(7185)0639

URL <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>